

2017年5月25日

研究に関する情報公開文書

藤田保健衛生大学疫学・倫理審査委員会受付番号：15-127

研究課題：脳卒中片麻痺患者の歩行評価と治療戦略の確立

研究責任者：富田 憲（藤田保健衛生大学七栗記念病院リハビリテーション部 係長）

1. 研究の対象

2015年9月～2020年3月に当院に入院された脳卒中患者様で、医師よりトレッドミル歩行実施の許可が得られ、かつトレッドミル上を介助なしで歩行可能な患者様

2. 研究目的・方法・研究期間

<概要>

脳卒中片麻痺患者様の後遺症の一つに歩行障害が挙げられます。依然として、歩行の評価は主観的な評価が多いのが現状ですが、その歩行障害の程度を客観的に評価ができれば、治療方針が明確になり、円滑にリハビリテーションを進めることができます。よって、本研究では歩行障害を定量的に評価すること、また、現状の治療戦略を見直し、より効果の高い治療戦略を確立することやより良い評価指標を確立することを目的としています。

<評価の方法>

トレッドミル歩行（動くベルト上を歩くこと）の様子を対角線上に置いた4台のCCDカメラで撮影します。歩行中は手すりを使用します。転倒がないように安全ベルトを装着します。身体には12個のマーカを貼付して撮影します。

評価の際の歩行速度は、平地をお好きな速さで歩いた際の速度を基本速度とし、実際のトレッドミル歩行場面を理学療法士が確認した上で、患者様の状態に合わせて速度を加減します。また、評価は入院2週間後から2週間隔で行います。

<安全面と倫理的配慮>

トレッドミル歩行（動くベルト上を歩くこと）や動画の撮影は、通常の理学療法で行われているものであり、常識を超える範囲の不利益を患者様が被ることはないと考えられます。歩行中に転倒がないように安全ベルトを装着して、患者様の安全面には十分に配慮します。また、歩行計測に関しましては、熟練した理学療法士が行います。

もし評価実施中に中止を希望される場合は速やかに評価を中止します。また、そのような場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

<研究期間>

2015年9月～2020年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者ID、年齢、性別、原疾患、既往歴、発症日、入退院日、併存症、日常生活活動と運動機能の評価結果、歩行速度、歩数、歩行条件、認知評価結果、訓練内容等

資料：関節角度、歩幅、各関節の位置関係や動き等

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. お問い合わせ先

研究責任者：

藤田保健衛生大学七栗記念病院 リハビリテーション部 係長 富田 憲

TEL:059-252-3138 FAX:059-252-1383